

# 平成26年度 学校評価実施報告書

## 3 2回目評価

学校名(京都市立待賢幼稚園)

重点評価項目について評価・改善していくための個別評価項目の設定 ・各項目にねらいを定めた取組の計画・実施 ・取組結果を検証するためのアンケート項目や各種指標の設定					アンケート実施結果、その他指標の結果、その指標の結果について整理		自己評価		学校関係者評価			
分野	評価項目	自校の取組	アンケート項目・各種指標	アンケート結果・各種指標結果	分析(成果と課題)	自己評価に対する改善策	評価日	平成27年3月5日	評価日	学校運営協議会 学校評議員		
1 確かな学力	主体的に遊び込む子どもの育成	一人一人の発達に応じた指導の充実・園内研修での子どもの記録の検討・国立教育政策研究所教育課程研究指定校・豊かな学びリーディングスクール指定校として研究を進めた。	一人一人の発達に応じた経験ができるようにしているか。幼稚園に行くのを楽しみにしているか。毎日のあてをもって登園して自分の力を十分に発揮していると思うか。	「発達に応じた経験」「幼稚園に行くのを楽しみにしている」は100%あてはまるとの回答。「めあてをもって自分の力を発揮している」については89%あてはまるとの回答	⇒	主体的に遊び込む子どもの育成に関するアンケート結果は前期よりも評価が高まった。「話を聞く態度」についても、保護者へも啓発し取り組んだことで評価が高まった。100冊読書についても前期よりも意識の高まりが見られた。「幼稚園へ行くのを楽しみにしている」が100%あてはまるという評価になったことに取組への一定の成果と考える。	平成27年3月5日	幼稚園評価委員会	学校関係者評価に よる意見	学校運営協議会・学校評議員による改善に向けた支援策		
	コミュニケーション力の育成	挨拶の意識向上 聞きたくなる話したくなる信頼関係の構築	自分の思いを言葉で伝えたいという思いが育っていますか。人の話を聞く態度が身についていると思いますか。挨拶や返事ができていると思いませんか。	「言葉で伝えたい思いの育ち」「話を聞く態度」は84%あてはまるとの回答。「挨拶や返事」については76%あてはまるとの回答							⇒	主体的に遊び込む子どもの育成については、個々の子どもの内面を探り、確かな担任との信頼関係があっこそ成り立つものであり、今後も、集団生活の中における、一人一人の充実を常に念頭に置いて保育を進めることが大切である。100冊読書・ノーテレビの取組については、格差が見られるので、取り組みにくい家庭の援助について見直す。
	ノーテレビ・ノーゲームデー、絵本読もうデーの推進、言語活動(絵本を読む、話し合い)の充実	100冊読書の親子の取組 絵本室の活用、話し合い	ノーテレビ・ノーゲームデー絵本読もうデーの取組は定着しましたが「めざせ100冊親子で読書」の取組は楽しめていますか。	「ノーテレビ・ノーゲームデー」70%「100冊読書」86%あてはまるとの回答								
2 豊かな心	豊かな体験活動	園内・外での自然体験 小動物とのふれあい 地域や他団体との交流	子どもの姿の姿容 子どもがいきいきと園生活ができるように環境づくりをしてみましたか。	「園の環境づくり」については100%あてはまるとの回答 エピソード記録の分析	⇒	園の環境づくりについて高い評価になっている。国立教育政策研究所教育課程指定校、豊かな学びリーディングスクールの研究指定を受け、多くのエピソードを細かく分析していく中で、個々の内面の育ちについて理解し、個々に応じた援助を探りながら取り組んできたことが評価を受けた。	平成27年3月5日	幼稚園評価委員会	学校関係者評価に よる意見	学校運営協議会・学校評議員による改善に向けた支援策		
	規範意識の育成	遊びや生活の中での具体的な事柄からの指導 全教職員による素地指	園内研修での細かい子どもの記録の分析・回数 素地指導の回数	園内研修後期25回国立教育政策研究所からの指導を受け、研究報告を行い評価を受けた。							⇒	園の環境づくりについて高い評価になっている。国立教育政策研究所教育課程指定校、豊かな学びリーディングスクールの研究指定を受け、多くのエピソードを細かく分析していく中で、個々の内面の育ちについて理解し、個々に応じた援助を探りながら取り組んできたことが評価を受けた。
	豊かな感性を育む	園庭の草花などの環境の充実 伝統文化に触れる、観劇体験、正しい言葉使いの徹底	園内研修での細かい子どもの記録の分析	記録より、伝統文化や小動物、植物への関心の高まりや、伝える力聞く態度の育ちが見られる。								
3 健やかな体	基本的な生活習慣の確立	一人一人に応じた丁寧な指導	「早寝・早起き・朝ごはん」は実行できましたか。基本的な生活習慣ができていますか。	「早寝・早起き・朝ごはん」「基本的な生活習慣」については89%あてはまるとの回答	⇒	基本的な生活習慣の確立については、前期よりも評価が低くなっている。1年を通じてその重要性を伝えてきたが、伝え方がマンネリになっていなかったか検証する必要がある。保育の取組の中で見える形で体力の向上が見られたことが、「進んで体を動かす」姿への評価が高まったと思われる。	平成27年3月5日	幼稚園評価委員会	学校関係者評価に よる意見	学校運営協議会・学校評議員による改善に向けた支援策		
	進んで体を動かして遊ぼうとする子どもの育成	広い元待賢小学校校庭の活用・園外保育の充実・環境整備・計画的な保育	体力がついてきていると思いませんか。友達と元気に遊んでいると思いませんか。	「体力」は100%あてはまるとの回答。「友達と元気に」は97%あてはまるとの回答。							⇒	基本的な生活習慣については、個々の状態について家庭との連絡を今後にも密に取り、全家庭に対する投げかけも、機を見て、具体性のあるものにしていく。今後も元小学校のグラウンドの活用などを工夫して行う。
4 独自の取組	地域に関わられた子育て支援推進	毎日の園庭開放・教育相談 未就園児親子の遊びの日の開設 子育て支援センター等との連携	参加者数、参加者感想	未就園児遊びの日の参加者10月～3月(3月20日現在)679名去年度の1.4倍	⇒	独自の取組については、全ての指標について上昇が見られた。特に保護者の実感が取組の成果につながる項目なので、保護者や地域の子育て家庭のニーズについて常に敏感に取り組む必要性がある。	平成27年3月5日	幼稚園評価委員会	学校関係者評価に よる意見	学校運営協議会・学校評議員による改善に向けた支援策		
	情報発信の充実	HPの積極的な更新 地域への情報紙発行 保護者への保育の説明	HPアクセス数 地域からの意見 保護者アンケート結果	HPアクセス7,418 保護者アンケート「園での子どもの様子がわかりやすい」97%あてはまるとの回答。							⇒	少ない教職員での、子育て支援センターとしての役割の拡大は、かなりの負担となるので、地域の方々、卒園児の保護者の方々の力を更に広くいただく、豊かなものにしていくことに努める。預かり保育については、形態が変わるのが、今までの、地域性や教員のアイディアが生きた内容が良きとして確るように取り組
預かり保育の充実	毎日保育終了後2時間の預かり保育の実施 保護者・地域の方の人材活用	預かり保育参加者数・アンケート「預かり保育は安心安全な遊びの場や保護者の子育て支援になっていますか」	後期のべ1610名預かり保育参加。前年後期比1.3倍。保護者や地域の積極的な支援も受け、アンケートは100%支持を受けた。	⇒	少ない教職員での、子育て支援センターとしての役割の拡大は、かなりの負担となるので、地域の方々、卒園児の保護者の方々の力を更に広くいただく、豊かなものにしていくことに努める。預かり保育については、形態が変わるのが、今までの、地域性や教員のアイディアが生きた内容が良きとして確るように取り組							

## 4 総括・次年度の課題

・「待賢幼稚園は、保護者や子どもにとって満足できる幼稚園だと思いますか?」の問いについて、100%あてはまるとの回答 をもらったことに満足せず、細かな項目について今後も検証し、その時々子どもや保護者の姿から援助を考えることを大切に取り組む。

・平成27年度は子ども・子育て支援新制度元年となり、様々な変化が見られると予想される。今回評価された子どもの育ちについて、形はどう変わろうと、死守する覚悟で保育にあたり、待賢幼稚園の良さを継続・発展させる。